

RAINBOW

NO. 95

松江市教育委員会学校教育課 松江市学校図書館支援センター TEL:55-5073 FAX:55-5251
<http://www1.city.matsue.shimane.jp/kyouiku/gakkou/>

夏休みに入りました。子どもたちは夏休み前に借りた本を楽しく読んでいるのではないのでしょうか。1学期の振り返りや2学期からの計画について、学校図書館運営組織や担当者でじっくり相談できる時間を持ちたいですね。



令和3年度 学校司書フォローアップ研修を行いました 6月4日(金)15:00~16:30 於:松江市教育委員会室

松江市における勤務年数1年目から5年目までの学校司書を対象に、学校司書としての資質・能力の向上を図ることをねらいとした研修会を開きました。

今年度は、松江市立古江小学校の多久和佑果学校司書と松江市立宍道中学校の牛尾恵利子学校司書のお二人に実践発表をしていただきました。実践発表の内容は次のとおりです。

「学校司書の役割について」多久和学校司書

学校司書の業務の中で重点的に行っていることや工夫していることを伝えていただきました。

- ・子どもたちに読んでほしい「おすすめの本」の取組や担任の先生へ読み聞かせ用の本の紹介などの読書支援について紹介
- ・授業で活用する資料について、担任（教科担当）の先生と打ち合わせ内容や活用後に資料の評価を行うことなど学習支援についての紹介



実践発表の様子

「ようこそ宍道中学校図書館へ」牛尾学校司書

宍道中学校での学校図書館を活用した授業の様子や読書を薦める取組、子どもの読書活動について図書館担当者や教員と共通意識を図る方法について伝えていただきました。



「家読のススメ」コーナー

- ・国語や理科、家庭科、美術、総合的な学習の時間等での活用の紹介
- ・お楽しみイベントの紹介や個に応じた読書支援について
- ・図書館担当の先生と日々の連絡の工夫（連絡ノート等の活用）や授業者との打ち合わせ時間の確保について

松江市小中一貫基本カリキュラム「学び方指導體系表」と「単元関連表」について

松江市では、児童生徒に義務教育9年間で身に付けてほしい学習の基礎的なスキルや生涯にわたる学び方のスキルとして、各教科等において学習内容と情報リテラシーの関係を明らかにした「学び方指導體系表」を作成しています。

令和2年度から実施された学習指導要領および採択教科書を基に「学び方指導體系表」及び「単元関連表」の改訂を行い、小学校部分は令和2年度から、中学校部分は令和3年度から各校で活用していただいています。学校図書館担当者だけでなく、各学年・各教科等で情報リテラシーに関する指導の際に役立つものとなっておりますのでご活用ください。

「学び方指導體系表」「単元関連表」のデータは
校務GW全体共有フォルダ > 照会回答 > 04 学校教育課 > 学校図書館支援センター
 にあります。

「学び方指導體系表」の見方

① 「学び方指導體系表」の形式

- ・横軸は児童生徒の発達の段階に即して、小中一貫教育の「4・3・2」の教育区分とし、さらに学年に区分している。
- ・縦軸は学習過程に即して「知る」、「見つける」、「つかむ」、「読み取る・考える」、「まとめる・伝え合う」とし、さらに具体的な学習内容に合わせ項目に区分している。

② 指導事項等

- ・国語科の教科書を中心に各教科で示されている初出の学年に指導事項等を記載している。

「単元関連表」について

「学び方指導體系表」で示した各単元等に係る情報リテラシーについて、学年ごとに「単元関連表」で表している。

単元関連表の一部
(小学5年)

「学び方指導體系表」と単元関連表

※凡例 「○」は指導事項 「*」は例示
 (「●」「@」は体系表に記載していない)

知る 見つける つかむ 読み取る・考える まとめる・伝え合う	A B C D E F G H I J K L M	国語科		社会科		理科		総合的な学習の時間		
		指導事項等	単元名	指導事項等	単元名	指導事項等	単元名	指導事項等	単元名	
	A	図書館の利用	○日本十進分類法(NDC)の仕組みを知る *請求記号(巻冊記号) ○本の他にもさまざまな資料があることを知る	図書館へ行こう P.28 こんな本もいっしょに P.25 P.43 P.73 P.101 P.103 P.135 P.185 P.225 P.255 五年生の本だな 上 P.92 下 P.197			●さらに深めるために調べ方を学ぶ	調べる-図書館を活用する- P.178		
	B	課題の設定	●調べるテーマを決める	環境問題について報告しよう P.50			@自由研究の計画書	わたしの自由研究 P.62 見つける P.174		
	C	情報の収集	○必要に応じ多様な方法で資料を集める ○多角的にとらえる	和の文化について調べよう 和の文化をきっかけと和菓子とさく P.142 テクノロジーの進歩について考えよう 「狭いロボット」だからできること P.214 環境問題について報告しよう P.50			●もっと知りたいと思ったところへ行く ●複数の情報情報を活用する ●多様な方法で資料を集める	わたしの自由研究 P.62 台風の接近 P.52 雲と天気の変化 P.78 人のたんじょう P.160 人のたんじょう P.160		
	D	調査(人・観察・実験)	○意図を明確にして聞く	知りたいたいことを聞き出そう P.46						
	E	図鑑、辞典、事典、統計資料、参考図書等の利用	*年鑑、統計資料集を使う *数字の単位、注	図書館へ行こう P.28 さまざまな資料を活用しよう P.156	○年鑑、統計資料集を使う	くらしを支える食料生産 上 P.68		台風の接近 P.52 流れる水のはたらき P.94 川と災害 P.114		
	F	図表、絵、写真の利用	○写真やキャプションを文章と関係付ける ○リーフレット、パンフレットから読み取る ●図表やグラフなどを用いる	書き手の意図を考えよう 新聞記事を読み比べよう P.78 和の文化について調べよう 和の文化をきっかけと和菓子とさく P.142 環境問題について報告しよう P.50 さまざまな資料を活用しよう P.156 資料を見て考えたことを話そう P.226	○地球儀を使う @地図帳、白地図 @土地利用 ●グラフを読み取る ●帯グラフを読み取る ●航空写真を読み取る ●表にまとめる @農作業ごみ @ハザードマップ	世界の中の国土 上 P.8 国土の地形の特色 上 P.16 米づくりのまかん地域 -山形県西置賜郡- 上 P.78 国土の気候の特色 上 P.42 くらしを支える工業生産 下 P.4 寒い土地のくらし 上 P.56 米づくりのまかん地域 -山形県西置賜郡- 上 P.78 自然災害を防ぐ 下 P.100		台風の接近 P.52 流れる水のはたらき P.94 川と災害 P.114		
	G	新聞や電子メディア等の利用	○記事を読み比べ、書き手の意図を読み取る ○見出し、リードを読む	書き手の意図を考えよう 新聞記事を読み比べよう P.78 さまざまな資料を活用しよう P.156	●電子メールで質問する ●新聞記事 ●メディアの特徴をとらえる ●ホームページを検索する ●情報活用のルールやマナーを知る ●メディアリテラシーを身に付ける	水産業のまかん地域 上 P.96 これからの食料生産とわたしたち 上 P.114 情報化した社会と農業の発展 下 P.56 情報を生かすわたしたち 下 P.90	記録する-カメラを活用する-P.177 調べる-小冊子を活用する-P.179 台風の接近 P.52 雲と天気の変化 P.78 流れる水のはたらき P.94 人のたんじょう P.160			
	H	情報の利用上の留意点	*発行年、情報の出所、著者・编者、発行者	環境問題について報告しよう P.50 さまざまな資料を活用しよう P.156						
	I	情報の取り出し	○要旨をとらえる ○観点に沿って読む	筆者の伝えたいことをまよ P.32 和の文化について調べよう P.142 環境問題について報告しよう P.50	●キーワードを使ってまとめる	国土の気候の特色 上 P.42	●後で見返した時に分かりやすく記録する	記録する-ノートに記録するの- P.176		
	J	情報の整理・分析	○事実(理由や事例)と考え・感想を区別する ○反論の構成をとらえる *「序論」「本論」「結論」 ○情報カードを活用する	事実と考えを区別しよう P.12 筆者の伝えたいことをまよ P.32 和の文化について調べよう P.142 環境問題について報告しよう P.50 和の文化について調べよう 和の文化をきっかけと和菓子とさく P.142	●比べる、分類する、総合する、関連付ける ●表にまとめるキャッチコピーをつくる ●二つのグラフを関連付ける ●帯グラフ ●フローチャート、関係図にまとめる	低い土地のくらし 上 P.22 あたがい土地のくらし-沖根- 上 P.48 これからの食料生産とわたしたち 上 P.114 工業生産を支える輸送と貿易 下 P.36 情報産業とわたしたちのくらし 下 P.58 情報を生かす産業 下 P.74				
	K	まとめ	○情報や資料を使って説明する *報告文 ●感想文 ○自分で考えたことを書く *感想文 ○資料を使って説明する *パンフレット	本は友達 P.97 伝説を基に感想文を書こう P.238 和の文化について調べよう 和の文化をきっかけと和菓子とさく P.142	●学習を振り返り、ノートにまとめる ●キャッチコピー、新聞づくり、かるた ●アビリティカードを使ってまとめる ●表にまとめる	低い土地のくらし 上 P.22 あたがい土地のくらし-沖根- 上 P.48 寒い土地のくらし 上 P.56 自然災害をつくる工業 下 P.10 水産業のまかん地域 上 P.96 わたしたちの生活と森林 上 P.112 米づくりのまかん地域-山形県西置賜郡- 上 P.78 環境を守るわたしたち 下 P.124				
	L	発表、交流	○意図を明確にしながら計画的に話し合う *付箋メモ	問題を解決するために話し合う P.104			●予想する時には、理由も添える ●話している人がどのようなことを伝えようとしているか、考えながら聞く	伝える・聞く P.175		
	M	振り返り(総復習、単元検)	○学習の過程と結果を活動に応じて評価する。さらなる活動を見つめる	資料を見て考えたことを話そう P.226 友だちと一緒に本を紹介しよう P.194 資料を見て考えたことを話そう P.226						

知る
見つける
つかむ
読み取る・考える
まとめる・伝え合う

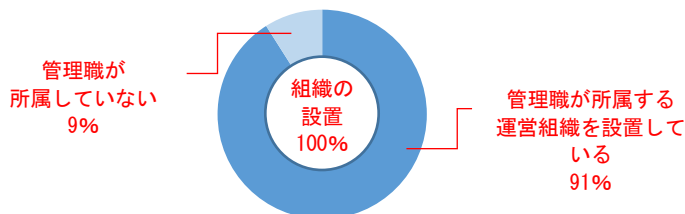
探究的な学習のプロセス

令和3年度 松江市学校図書館活用教育推進に係る実態調査結果について

(一部抜粋)

学校図書館の運営や活用教育の推進を図るために、松江市独自の調査を実施し、結果に基づき望ましい学校図書館に向けての点検や改善について学校図書館支援センターがアドバイスを行っています。

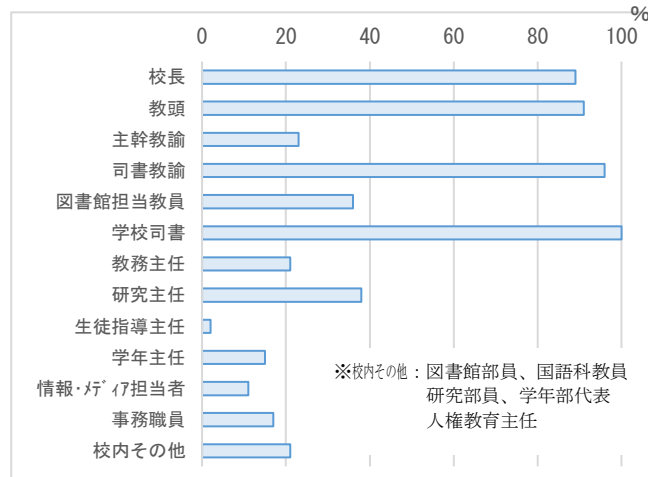
○学校図書館運営組織の設置状況



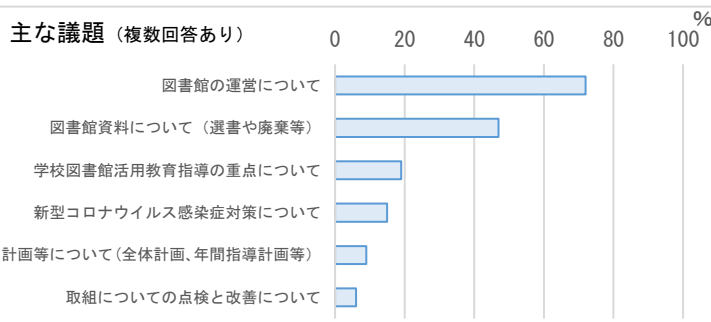
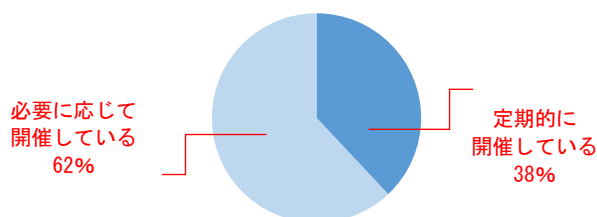
文部科学省が示している学校図書館ガイドラインには、「学校は、必要に応じて学校図書館に関する校内組織等を設けて、学校図書館の円滑な運営を図るように努めることが望ましい。」と記してあります。

松江市は校長のリーダーシップのもと運営組織を中心に学校図書館の充実や活用が図られることを推進しています。

○学校図書館運営組織構成員の所属割合



○学校図書館運営組織の会の開催状況



○司書教諭の発令

校種	学級数	学校数(校)	発令校数(校)	発令率(%)	発令人数(人)
小学校	12学級以上	17	17	100	32
	11学級以下	14	14	100	16
中学校	12学級以上	7	7	100	8
	11学級以下	7	5	71	6
義務教育学校		2	2	100	4

※司書教諭を複数発令している学校は13校
 ※司書教諭の発令がない学校は、司書教諭講習修了者が在籍していないため

○学校司書の配置

校種	人数(人)
小学校	31
中学校	14
義務教育学校	3

※全校に配置

松江市教育委員会 校務GW全体共有フォルダ(学校図書館支援センター)を更新しました

校務GW全体共有フォルダ(学校図書館支援センター)を随時、更新しています。学校図書館の運営や活用教育、読書指導等にお役立てください。

アクセスは [校務GW全体共有フォルダ](#) > [照会回答](#) > [04 学校教育課](#) > [学校図書館支援センター](#)

7月に追加したもの「授業や読書活動で活用できる資料」

- ・小1 国語「ほんがたくさん」「オリエンテーション」「とんこととん」
- ・小3 国語「図書館へ行こう」「オリエンテーション」
- ・小3 理科「しぜんのかんさつ」
- ・小6 国語「風切るつばさ」
- ・中 社会 歴史「アジアの強国の光と影」
- ・小3 総合「松江城」
- ・小6「平和学習」
- ・小 外国語(活動)「児童の心を動かす絵本リスト 50」

ショートカットをデスクトップに貼り付けておく便利です。

学校司書の活動や気づき 令和3年5、6月の学校司書業務報告書より

(各校の活動について、学校間で情報交換ができるように学校番号(運営説明会資料名簿番号)を文末に表記しています。)

●読書支援に関すること

- ・図書館オリエンテーションが全学年終わったので、入口に「図書館の達人になろうクイズ」を設置した。クイズの内容は「本は何冊借りられるでしょう？」という簡単なものから、分類について「仲間分けするとき、仲間でないものはどれでしょう？」という少し難しいものまで全部で5問出題した。



正解者には本は友だちカードにシールを貼り、達人認定した。特に4年生の児童に人気で、多くの児童が達人認定されている。他にもクイズを出してほしいとのことだったので、出口には図鑑クイズを設置した。植物のホタルブクロを飾り、植物図鑑を近くに置き、「なんという植物か図鑑で調べてみよう！」と掲示した。これも4年生に人気であった。クイズに答えるだけでなく、図鑑を見ながら通学路にたくさん咲いている花について調べる児童もいた。(26)

- ・小学2年生と3年生にアニメーションを行った。2年生は「お話の間違いさがし」で、しっかりお話を聞いていたのですがすぐに間違いに気づくことができていた。3年生は「昔話の主人公あてクイズ」で、子どもたちが質問を考え学校司書が答えていく形で行った。最初は戸惑っていたようだが、すぐに答えに辿りつけるような良い質問が出るようになった。子どもたちが楽しんでアニメーションに取り組む様子が見られた。(28)
- ・時々、昼の放送で本の紹介を行っているが、放送がある日とない日では明らかに貸出冊数や来館者数が異なっている。放送の後、生徒たちが先を競って図書館に駆けつける姿が見られた時もあった。丁寧に伝えれば、生徒たちは興味を持ってくれることが実感できた。今後も様々な手段で広報活動を行っていきたい。(34)

●学習支援に関すること

- ・小学6年生に平和学習のためのブックトークを行った。調べ学習を行う前に、まず読み物を読ませたいという担任の要望もあり、ヒロシマに関する絵本や児童書、写真集などを紹介した。子どもたちはとても真剣に聞き入っていた。終わってからすぐ手に取り読み始めている姿も見られ、よい学びに繋がってくれそうで嬉しく思った。ヒロシマや原爆、戦争に関する知識はもちろん大切だが、知識の量だけでなく、何よりもまず、物語やノンフィクションを読むことで、人の痛みや悲しみ、怒り、そういった気持ちを受け止め、心で感じ自分の考えをしっかりともてるようになってほしい。そして、得た知識をより深めていってほしいと願っている。「知識を深め広げる」ためには、心がともに育っていくことが大切だと考える。(5)
- ・図書館を活用した授業ごとに、図書館活用の内容や準備、成果物の有無、気づいたこと等を記入した「図書館活用授業票」を作成している。昨年度の中学2年の国語「熟語の構成」で気付いた点を今年度のワークシート等に活かすことができたので、小さなことでも改善点を蓄積していくことが、授業補助の改善にもつながると感じた。(47)

●図書館資料に関すること

- ・進路について考える参考になればと思い、中高生新聞や週刊さんいん学聞に掲載されている仕事紹介の記事や働くことに関する本、紹介している仕事に関連する本を展示する「仕事紹介コーナー」を常設することにした。将来の夢について意識することで、学習に対するモチベーションが上がるように支援していきたい。(42)

